CMCテクノロジーグループ（CMG)

New-S Wealth Management

《企業紹介》

同社は1993年に設立され、ベトナムの情報通信インフラの構築に黎明期から深くかかわってきた実績を有する、ベトナムの大手情報サービス企業である。戦略的パートナーシップを確立している世界的な情報技術企業（マイクロソフト、SAP、オラクルなど）と協力して、世界最高水準の技術に裏打ちされたサービスを提供している点が強みとなっている。顧客はベトナム政府および政府系機関、大手製造業、ベトナムの大手金融機関などが中心となっているほか、サムソンSDS（韓国のサムソングループにおける情報サービスの中核企業）が同社の筆頭株主（保有比率19.9%）となっており、サムソングループと取引関係にある企業向けの管理システム導入で協業している。また、海外展開も積極的に進めており、特に日本はIT人材の不足を追い風に業容を拡大している。2026年6月には同社会長のグエン・チュン・チン氏が日本経済団体連合会（経団連）の審議員に任命されるなど、存在感も高まっている。

《2026年7-9月期業績》

2026年7–9月期の売上高は前年同期比6.6%増の2.5兆VND（ベトナムドン）だった。詳細の発表はないが、引き続き日本でのITサービスの売上高の増加が牽引役となったようだ。深刻なIT人材の不足が続くなか、急速に進化するAIへの対応などITサービスの需要は旺盛であるため、高いコスト競争力を武器に日本でのシェア拡大のチャンスは引き続き大きいとみられる。また、積極的に投資を進めてきたデータセンター関連事業の貢献も売上高の増加に貢献し始めているようだ。

粗利益率は同0.3%ポイント上昇の17.5%となったため、粗利益は同8.2%増の4,526億VNDとなった。販売費が同0.6%増の1,547億VNDに抑制されたが、一般管理費が同8.6%増の1,558億VNDとなったこと、金融収支が前年同期の92億VNDの受取超過から152億VNDの支払超過に転じたことにより、営業利益は同2.7%減の1,268億VNDとなった。持分法投資利益の増加や営業外損益の改善によって税前利益は同1.4%増の1,425億VNDとなった。純利益は少数株主持分控除額の増加によって同1.2%減の889億VNDとなった。

図表1　四半期業績の推移（単位　十億VND）

	2025年7-9月期		2025年10-12月期		2026年1-3月期		2026年4-6月期		2026年7-9月期	
		前年同期比（%）		前年同期比（%）		前年同期比（%）		前年同期比（%）		前年同期比（%）
売上高	2,420.1	10.6	2,563.1	11.3	2,367.4	23.4	2,323.2	5.1	2,579.3	6.6
粗利益	418.4	27.3	506.6	13.6	413.3	8.0	415.4	6.3	452.6	8.2
粗利益率(%、%ポイント)	17.3	2.3	19.8	0.4	17.5	-2.5	17.9	0.2	17.5	0.3
金融収支(マイナスは収入)	-9.2	-	33.6	-	-29.6	-	6.5	-	15.2	-
販売費	153.7	14.8	129.9	-3.1	187.5	26.7	150.3	13.0	154.7	0.6
一般管理費	143.4	13.8	166.7	33.4	122.6	-13.4	150.2	9.0	155.8	8.6
営業利益	130.4	70.3	176.3	2.7	132.7	16.6	108.5	-12.8	126.8	-2.7
税前利益	140.5	62.0	195.0	11.5	140.6	10.4	121.5	-10.5	142.5	1.4
純利益	90.0	52.9	134.5	6.3	94.4	18.0	75.1	-20.3	88.9	-1.2

出所　会社資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長（金商）第138号】
加入協会　日本証券業協会　一般社団法人資産運用業協会　　有効期限作成日より180日　　News20261117
主な事業　金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものですが、その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク（カウンターパーティーリスク）、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

CMCテクノロジーグループ（CMG)

《株価の推移》

同社の株価とVN指数について2025年末終値を100としてそれぞれを指数化したものが図表2である。同社の株価は3月以降、下落トレンドが続き、VN指数を大きくアンダーパフォームしている。11月16日時点の2025年末比変動率はVN指数が3%の下落となっているのに対し、同社は46%の下落となっている。11月16日終値17,600VNDベースの時価総額は4.0兆VNDで、これは2026年3月期実績の純利益4,028億VNDの10倍となっている。AIの社会実装の進捗による生産性向上がITサービスの需要を減少させるリスク（ソフトウェアの死）を懸念する向きが増え、株価パフォーマンスに影響を与えている可能性がある。7–9月期業績はそのようなリスクを払拭するにはやや力不足だったようで、株価パフォーマンスの停滞が続いている。

図表2 株価の推移



出所　各種データをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長（金商）第138号】
加入協会　日本証券業協会　一般社団法人資産運用業協会
主な事業　金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20261117

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものですが、その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク（カウンターパーティーリスク）、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。